

## 愛知芸術文化センター・アートライブラリー資料収集方針

### 1 収集の目的

県民の芸術に対する知的欲求に応え、芸術活動を支援すると共に、芸術文化センター、国際芸術祭推進室及び（公財）愛知県文化振興事業団が実施する事業等の企画、調査、研究に資するため、資料を収集する。

### 2 収集の方法

購入、寄贈、寄託等により収集する。

### 3 収集の対象

芸術（美術・音楽・演劇）に関する図書、楽譜、逐次刊行物、録音資料、録画資料、マイクロフィルム、スライド、磁気媒体資料、その他記録等を収集する。

### 4 分野別の図書資料収集範囲

#### （1）美術

和書 参考図書、美術館の蔵品目録、近現代美術に関する画集、研究書、美術館学に関する資料は、積極的に収集する。

美術全集、近代以前の美術に関する画集、研究書、美学、美術教育、写真、デザイン、工芸、建築関係資料は、特に重要なものを収集する。

洋書 参考図書、美術館の蔵品目録、近現代美術に関する画集、研究書を中心に収集する。

展覧会カタログ 国内の美術に関する展覧会カタログは、積極的に収集する。

海外の展覧会カタログは、主要な物を精選して収集する。

#### （2）音楽

和書 参考図書、クラシック音楽、現代音楽、日本音楽、民族音楽に関する図書は、積極的に収集する。

音楽教育、大衆音楽に関する資料は、特に重要なものを収集する。

洋書 参考図書、ヴィジュアルな資料、特に評価の高い研究書を中心に収集する。

#### （3）演劇

和書 参考図書、日本の近代演劇、伝統演劇、外国演劇、舞踊に関する資料及び劇作品は、積極的に収集する。

洋書 参考図書、ヴィジュアルな資料、特に評価の高い研究書、主要な作家の劇作品を中心に収集する。

映画、放送劇、大衆演芸に関する資料は、特に重要なものを収集する。

#### （4）その他関連分野の資料

参考図書を中心に収集する。

また、芸術文化センター、国際芸術祭推進室及び（公財）愛知県文化振興事業団の企画事業に関連する資料を収集する。

## 5 資料種別ごとの収集範囲

### (1) 楽譜

管弦楽 総譜は、積極的に収集する。

演奏譜は、主要な作品を中心に収集する。

室内楽 総譜は、積極的に収集する。

演奏譜は、主要な作品を中心に収集する。

独奏曲 主要な作品を中心に収集する。ただし、オルガン曲は、重点的に収集する。

オペラ・ミュージカル 総譜及び声楽総譜を積極的に収集する。

合唱曲 主要な作品を中心に収集する。

独唱曲 主要な作品を中心に収集する。

全集 主要な作曲家の全集を収集する。

日本人作曲家の作品 積極的に収集する。

### (2) 録音資料（コンパクトディスク、LPレコード、ミュージックテープ等）

クラシック音楽、現代音楽、日本音楽、民族音楽を中心に収集する。このうち、オペラ、オルガン音楽、現代音楽、民族音楽の日本発売盤は積極的に収集する。

国内盤のない作品は、外国発売盤からも収集する。

### (3) 録画（映像）資料（DVD、ビデオテープ、レーザーディスク等）

音楽 オペラ、バレエ、ミュージカル、民族音楽の日本発売盤は、積極的に収集する。

その他のクラシック音楽は評価の高い演奏のものを収集する。

演劇 演劇、舞踊、パフォーマンスの日本発売盤は、積極的に収集する。

映画作品については、映画史上特に重要な作品を収集する。

美術 近現代美術に関する資料を中心に収集する。

また、映像表現として評価の高い作品を収集する。

芸術文化センター、国際芸術祭推進室及び（公財）愛知県文化振興事業団が実施した企画事業の活動記録映像は、網羅的に収集する。

### (4) 逐次刊行物

和雑誌 美術、音楽、演劇関係の市販雑誌及び学・協会誌は、主要な物を精選して収集する。

紀要等は、寄贈交換により出来る限り収集する。

洋雑誌 美術、音楽、演劇関係の各国の主要雑誌、及び企画事業部門の調査研究に欠く事のできない雑誌を収集する。

(施行期日)

この資料収集方針は、平成26年4月1日から実施する。